道　受け継がれる魂（こころ）

JC LIFE

2015年
8月号

JCI　一般社団法人尾道青年会議所 http://www.ojc.or.jp/　〒722-0035 尾道市土堂2-10-3　尾道商工会議所ビル3F
TEL：0848-20-1110　FAX：0848-20-1112　E-mail：ojc@urban.ne.jp　Facebook：http://www.facebook.com/isojcnow

七月ゆかた会

7月16日（木）、千光寺山荘におきまして、7月ゆかた会が開催されました。今年のゆかた会は上半期の慰労と9月に迫る広島ブロック大会ＩＮ尾道の決起大会という位置づけとして盛大に行われました。また、日本遺産にも認定された尾道の素晴らしい景色も堪能でき下半期にむけて活力を得ることができました。今回のテーマは「Ｃｈａｌｌｅｎｇｅ　Ｔｏｇｅｔｈｅｒ」～仲間そして未来のために～　と題して尾道青年会議所が一致団結できる設えとしました。過去２００４年に行われました広島ブロック大会の実行委員長や副実行委員長に当時のことについてビデオを用いてインタビュー形式で出演していただきました。水ノ上雅啓先輩、鍛治川立章先輩、高垣昌明先輩お忙しい中ご協力いただきまして誠にありがとうございました。そのことにより現役会員の結束や意識付けが強まり、盛り上がりをみせております。最後には、メンバー全員で一つのものをつくるということを目的とし、本年度のテーマ「道」をパネルでつくりました。メンバーの皆様ご協力いただきましてありがとうございました。

（記事：井上　智仁）

「Challenge Together」
JCI
5
9

高垣 昌明　先輩

鍛治川 立章　先輩

水ノ上 雅啓　先輩

寺子屋

8月1日（土）、2日（日）おのみちＪＣ寺子屋２０１５は晴天の下、子どもたちの賑やかな声と共に幕が開かれました。三重塔など数多くの重要文化財を抱える尾道を代表するお寺、西國寺にて総勢40名の小学生は、尾道青年会議所のスタッフを始め、尾道市立大学生、留学生のボランティアに見守られながら、（公社）日本青年会議所　日本の民間外交推進会議プログラム「世界の中の日本プログラム～Ｒｏａｄ　ｔｏ　ｔｈｅ　ｗｏｒｌｄ～」、立花テキスタイル研究所「草木叩き染め体験」、東野真理子氏による「被爆体験伝承講話」、佛通寺の松田先生による「座禅体験」、西國寺麻生副住職監修のもと「写仏・写経」、今川玉香園茶舗　今川智弘氏に導かれ「茶道体験」など、非日常体験の中から、「異文化理解・交流の難しさ」、「戦争の恐ろしさ」、「平和の尊さ」、「命の恵みの大切さ」と、数多くを学んだかけがえのない二日間でした。最後に記念撮影を終え、子どもたちが見せた清々しい笑顔が今でも目に浮かびます。末筆になりましたが、本年度の寺子屋に携わって下さいました全ての方々へ、心より厚く御礼申し上げます。本当に有難うございました。

（記事：地域教育実践委員会　日暮　泰広）

おのみちJC
寺子屋 2015
JCI
主催：一般社団法人 尾道青年会議所

松江花火大会

8月1日（土）～2日（日）、3年前の尾道・松江の姉妹都市提携以来交流させて頂いている松江ＪＣ様よりお誘いを受けまして、山陰地方夏の最大のお祭りである「２０１５　松江水郷祭『松江だんだん』」に参加してまいりました。

白潟公園に設営された屋台村にブースを出展し、尾道ラーメンとドリンク等を販売いたしました。両日ともたいへんな猛暑でしたが、多くの皆様にご来場頂き、用意したラーメン５００食は完売、尾道の味・魅力を充分にアピールすることが出来たと思います。改めましてご来場頂いた皆様、松江ＪＣ・松江ＹＥＧの皆様、お忙しい中ブース出展に快くご協力頂いたメンバーの皆様に、心より感謝申し上げます。

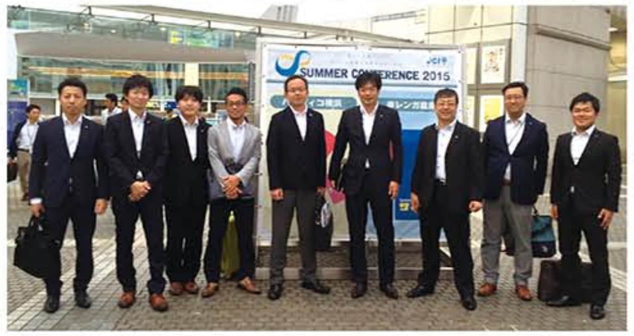
（記事：渉外局長　徳永　剛志）

サマーコンファレンス2015

7月18、19日に横浜で開催されましたサマーコンファレンス２０１５に参加してきました。今回私たちが参加したのは山元賢治氏の「変わり続けることこそがイノベーション」というテーマのフォーラムです。元アップル・ジャパンの代表取締役社長である山元氏の講演は、人を惹きつける言葉、自然と興味を持ち聞き入ってしまう程の内容でした。好奇心を常に持ち続けることの大切さを強く伝えられていました。

そしてもう一つ、中田英寿氏のフォーラムにも参加してきました。中田氏は世界中を旅し世界の人々と触れ合い、様々な文化を学んでこられています。その中で日本の良さを改めて実感し、もっと自分の目で確かめたいという思いから今は日本各地を訪れています。有人最南端の波照間島をスタートし、最北端の稚内を目指して今も日本の伝統文化を学びながら旅を続けられています。印象的な言葉に、「人に何を言われても自分のやりたいことをとことんする、中途半端で終わるのではなく最後までやりきる」という言葉がありました。中田氏の経験談は説得力も強く、内面的な部分で多くの刺激を頂くことができました。

（記事：セクレタリー　今岡　正英）



事業告知

ブロック大会案内

9月13日に広島ブロック大会を11年ぶりに尾道市で開催します。尾道青年会議所メンバー一同力を結集し、尾道らしいおもてなしで参加された方々に対し、尾道の魅力を最大限に発信して参ります。

私たちの住む尾道市は、古くからの町並みや海・山・島といった景観に恵まれ、しまなみ海道・やまなみ街道の全線開通により益々多くの人々が訪れています。今年の4月には尾道の歴史的魅力を国内外に発信し、地域の活性化を図る目的として「日本遺産」へ申請、認定されました。今後広域的な交流が図られ全国の方々にお越しいただけると期待を寄せています。

本大会ではそんな魅力あふれる尾道の地にて、広島県内12の青年会議所から受け継いだ魂を重んじ、地域間交流・世代間交流の絆を深めて参ります。会員一同本大会を成功に導けるよう努めて参ります。是非ご参加を宜しくお願い致します。

理事長　本多 隆士

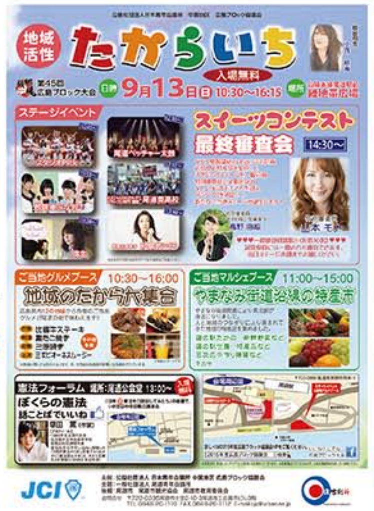
第45回広島ブロック大会の主管を仰せつかってより今日まで、尾道青年会議所メンバーは、11年ぶりに開催するこの事業を成功させるべく日々多くの時間を費やし、皆様をお迎えする準備をしています。ご来場頂く皆様にいかにして尾道を楽しんでいただけるか、どのようにして我々の活動が尾道のみならず、真に地域から必要とされる運動として発信することができるかなど、多くの課題に向き合いながら前向きに努力をしています。

本大会PRや各種会議の際に、かけていただく多くの友情や励ましの声を励みとし、頂戴したご厚情に応えるべく我々は一生懸命に準備設営させていただく所存です。

さて、本大会はその開催テーマを「故郷魂（マインド）」と掲げさせていただきました。魅力あふれる地域を創造する為には、我々がその時代の地域のリーダーとして今までのまちの在り方を尊重し、まちを愛し、まちに誇りを持つそんな熱い故郷魂（マインド）が必要だと考えております。また、会場設営に関しましても式典を公会堂、地域活性たからいちを駅前緑地広場、大懇親会を尾道水道の上に台船を浮かべ行う事で尾道の街並みや魅力を存分に感じて頂けるような設えとなっております。この機会を通じて、今後も力強く我々の運動を地域に発信して行ける大会構築を目指し、本番まで皆様をお迎えする準備を行って参ります。

どうぞ一人でも多くのご参加をお待ち致しております。

ブロック大会実行特別委員長　太田 雄介


地域活性
たからいち
入場無料
第45回広島ブロック大会
9月13日(日) 10:30~16:15
ステージイベント
スイーツコンテスト
最終審査会 14:30~
ご当地グルメブース 10:30~16:00
地域のたから大集合
ご当地マルシェブース 11:00~15:00
やまなみ街道沿線の特産市
憲法フォーラム
ぼくらの憲法
JCI

◀詳しくはこちら

編集後記

ついこの前プロ野球が開幕したように思っていたら、もう８月となりました。年齢を重ねると時間の流れが早く感じます。

私達にも子供の頃があったわけで、この時期は夏休みでした。夏休みの宿題は最終日にやっつけ仕事で乗り切る子供だった方も多いと思います。ただ、日々流れる時間の早さを実感すると、ＪＣでの各事業も悔いを残さないためには直前にやっつけで…とはいきませんね。いい大人ですから…

年々暑さが激しくなっているようにも感じますので、熱中症等には気をつけて、この夏を乗り切りましょう。（記事：山本 邦人）

卒業生スピーチ

みなさんこんばんは。

本日は3つお話させていただきたいと思います。自己紹介と1975年生まれについてとJCに対する思いについて話させていただきます。簡単に自己紹介をいたします。

自己紹介ですが、私は共和工機株式会社に勤め、184号線の栗原のイエローハットのところから入りマスハラ楽器の前の会社で創業70年を迎えて、私で4代目となります。社長に就任して2年ですが、機械工具の総合商社として、おもに工場などのマシニングだったり工作機械や空圧機器を取り扱ってます。

次に、1975年生まれについてですが、兎年ということもあり、大変寂しがり屋が多いそうです。子供のころヒットした商品は小学校1年生の時にガンダム、2年生の時にミニ四駆、3年生の時にキン消し、ファミコンが出てきました。現在もまだ残るベストセラーが沢山出た、できのいい世代だったとおもいます。

JCについてですが、私がいいなと思ったところをお話しさせてもらいます。1つは、異業種の交流ができるということ、また、単年度制というところがいいとおもいます。一年経てばまたメンバーが変わりいろんな人と一緒になれるというところが尾道JCのいいところだとおもいます。

2つ目は、理事を経験して、頼まれごとは試されごとと考え、やってみないとわからないことばかりで、やったものしか残らないということだと思います。だから、人から声がかかったらそれをチャンスと考え、成果のでる方に意思決定されれば何かいいものが得られると私は思います。理事をやって本当のことが分かってきたので、時間の許す限り挑戦していただきたいと思います。最後に一番の思い出は、去年の夏期講習で熱中症になり大変皆様に御迷惑をおかけしました。暑い時期なので、みなさん熱中症には十分注意して、JCライフを過ごしてください。本日はありがとうございました。

福田　隆一

みなさんこんばんは。卒業生モードになっておりませんが年ごとの思い出を語りながら話させていただきたいと思います。平成19年に入会いたしまして今年で9年目になっております。そのうち事務局と総務系が5年と総務の裏方の方の活動を主にさせていただきました。それ以外の委員会が3年ということで、自分が表に立ってみんなを引っ張っていくことが苦手なタイプですので、それも見越して人事をしていただいたと思います。まず平成20年の教育ビジョン委員会ですが、委員会幹事として初めての仕事で鍵を取りに行くとか、委員会前に会場開けとか基本的なことをしながら一年を過ごしました。そして、それが終わって幹事の職が解けて、総務情報委員会に配属されまして当時の安倍委員長から編集長やってくれと言われ、なんだろうと思ったら、JCライフの構成だったり、業者の打ち合わせだったりを一切任せるから好きにやってくれと言われ、そんなことやったことないのですが、一生懸命取り組んだ一年でございました。総務という裏方の委員会にみえますが、いろいろと表に立ってJCライフの記事を集めたり、楽しい1年だったと思います。その翌年、理事セクレタリーという役職をいただきました。忠正君はスマートでかっこいいセクレタリーでしたが、私は、汗っかきでおっちょこちょいなのでバランスが取れていたような気がいたします。その時の鍛治川理事長、谷前専務、沼田事務局長の5人で事務局をやっていましたが、途中からセクレタリーの役割が沼田さんのセクレタリーになっておりまして、後半はそのフォローをずっとやっていた印象があります。そして即年の2011年ブロック会員研修実行委員会は忘れもしない1年だったのではないかと思います。現在のブロックアカデミーにあたるものが尾道で主観されていましたので、それの実行委員会ということで、副実行委員長を仰せつかりました。ブロックの上程スケジュールを合わせいろいろ構築していくわけですけど、新入会員セミナーをやるというお題があったのでうまくやれば何事もなく終わっていたと思いますが、こういったことを初めてやりましたのでかなり瞑想といいますか、遠回りをしながら事業構築をしたのではないかと思います。当時の委員会メンバーに安部直前、本多理事長、歴代村上伸一さん、鍛治川さんという強力なメンバー、そして岡本君、桑田君、木村君という若いメンバー、幹事で吉原敏兼君がいてくれましたが、みなさん厳しい意見やアドバイスを受けて舞い上がっていたというか、左右が見えない一年だったと思います。そんなことをしながら、大会当時を迎えたのですが前日の準備と当日の片づけが大雨で開催の時間の時だけが晴れたという奇跡的な日で、そこからみた、サンセットビーチの夕日がすごくきれいなのを覚えています。こういう経験はこういうところに入らなければ経験できないのだと改めて感じた1年でした。翌年はとある方から日本に出向してみないかというチャンスをいただきましたので、国際グループのアジアアライアンス確率委員会というところに出向してきました。初めて一人での日本出向ということで、行ってみるとメンバーがいろんな考えを持った人がいていろいろな刺激や経験ができました。そういう機会があれば、そこでの活動もいいのではないかとおもいます。委員会配属では忠正委員長の未来ビジョン委員会で、活動をさせていただきました。忠正委員長のいろんな事業に対しての熱い情熱を感じながら活動をしました。それが終わり、次は事務局長ということで高橋武也理事長、安倍専務、池田君、山北君がセクレタリー5人で事務局でした。この年は、プライベートで結婚した年でもあり、いろいろわがままを言った年ではありますが、快く引き受けていただきすごく感謝しております。結婚式の2次会で同期のメンバーが、白鳥の衣装をきてすごい盛り上げてくれたことにうれしくて感謝しております。ありがとうございました。2014年は専務理事という役をいただきました。まさかJC活動でそんな役職をいただけると思っていなかったので、オファーがあった時はすごく迷いました。初めて少し時間をくださいと言ったとおもいます。それだけ自分にとってはできないのではないかと思った役職でした。オファーと受けたということは殻を破ってやってみろということだと思いひきうけました。その時、理事セクで敏兼君、耕平君と元太君にはいろいろ助けていただきました。今年は最後の年ですが、ブロックの副会長という役をいただき、自分なりに一生懸命頑張っており、補佐ででています、大池君、工藤君には最後まで宜しくお願い致します。

毎年一つ決めて活動していることがあります。それは、周りからみたらそうではないかもしれませんか自分なりに一生懸命に取り組んで一年を過ごしたつもりでございます。その積み重ねが今日の卒業生スピーチという場をいただいたのではないかと思います。本当にいろんな方と出会って、いろんな人とお話させていただいていろんな人から刺激をいただいた9年間だったなと思います。まだまだ、あと5ヶ月ありますので最後の最後に9年間の総括をしたいと思います。今、いえることは、入っているときと入ってない時の自分は何かしら違っていいたのかなと思います。正直、その都度なにくそということもたくさんありましたが、そんなこと一つ一つが自分の中で成長できたと思っております。最後の最後までどこかで何回かむかカウントをしているのではないかとおもいます。なかなか、かみかみが直りませんが、有意義なJC活動を過ごさせていただいたと思います。ありがとうと言いたいとこですが、残り5ヶ月ありますので、宜しくお願い致します。ありがとうございました。

佐藤　敏章

まず自己紹介ですが尾道しまなみ商工会青年部御調地域委員会直前委員長、尾道市消防団市分団一部班長、そして本年度は総務室会員拡大委員会委員と色々させていただいております。

まずは振り返らせていただいて、平成十七年会員開発室会員拡大委員会、岡本委員長のもと、例会等は出させていただいたのですが、委員会はあまり出席しませんでした。

その翌年、僕が十一年間で一番思い出が深いですが、社会開発室社会開発委員会吉原弘貴委員長の元、みなと祭りで「担げ力石」と言うイベントをさせていただきまして、当時の委員長がとても無茶な方で「僕は、尾道から向島まで走って渡りたい」といきなり仰られまして、結局は住吉浜で距離は短かったのですが、発砲スチロールを浮かべ、そして並べ開催できました。その年の幡中副委員長、自分が御調出身ということで、鍵当番を替わって下さった高橋司さん、中浜聖登さん等々とにかくよく食べるメンバーが揃っていてひたすら焼肉屋へ行った思い出があります。

その翌年魅力会開発委員会、料理が得意な永井委員長ですが、この年も非常に思い出深いんですが、五十周年の記念式典の司会をさせていただきまして、この日は兎に角「山岡、仕事が入るとこれないぞ」ということで、艮神社さん、西国寺さんにその当時「式典の日に仕事が入らない」という呪いをかけられまして、おかげさまでその日はもちろん、当分仕事が入りませんでした。艮さんと西国寺さんのご利益をうけました、大変感謝しております。その後、式典も無事終わりまして国際ホテルに展示してあった三体の神輿などの撤去撤収作業も終わり、諸事情ありまして打ち上げには参加できませんでしたが、心に残る事業の一つになりました。

平成二十年、拡大研修委員会高橋司委員長のもと、地元御調での拡大活動を頑張りました。鍛治川立章先輩、馬原美晴さん自分の同業種の方々と業界の集まりの様な雰囲気な委員会過ごさせたいただきました。

その次はビジネス交流委員会、増田委員長、吉原寿希副委員長の齟齬のある楽しい委員会でした。その年に委員会で心の兄と慕っている西本周一郎さんと出会いよく深夜まで御一緒させていただきました。そして、その次の太田委員長の時も西本さんと一緒に飲んでおりまして、お世話になりました。

そして尾道経済活性化委員会、小林輝久委員長です。私が御調出身なのを気にかけていただき、夏季講習をふれあいの里で行っていただき、私自身何も出来ておりませんが幾分かのお手伝いをさせていただきました。この年特に印象に残っているのが河本清順さんとアフターの居酒屋で町作りについて熱く語り合ったことです。僕も商工会の活動をさせていただいている事もあり、大変勉強になりました。

その翌年ビジネス開発委員会、安本委員長ほとんど何もできませんでした、また福山行きましょう。

次はしあわせな社会探求委員会加度委員長、片岡副委員長、この時も当時の増田委員会を思い出させる大変楽しい委員会でした。深夜まで委員長の会社で資料造り等、健康的にビジネスについてたくさん学ばしていただきました。

総務広報委員会、三谷委員長には多分一番迷惑かけたと思います。

そして今年の会員拡大委員会、武田委員長、福田副委員長ほぼスリープ状態な私ですが卒業生ということで我儘な希望をかなえていただき卒業旅行にもいかせていただきました、流川で深夜まで語り、翌日のカープ観戦と非常に過ごさせていただきました。自分は太田委員長の時の小倉、そして今回の広島と委員会旅行は二回だけですが、楽しい思い出をありがとうございました。

私は今年JC卒業ですが、商工会青年部にも十五年在籍しておりまして、入部した当時はアナログな団体でしたがJCに入り地元に何か還元できないかと当時から頑張ってまいりました、今となっては時代の流れとともにではございますが、自分のしてきたことが少しでも役に立ったかなと思っているところであります。

自分は理事歴も出向歴もございません。チャンスが有れば引き受けたかったのですが、ちょうど合併の年、2005年に御調の夏祭りの委員長を山本圭史先輩より引き継ぎまして地元を優先してそちらの先頭を走っていました。JC活動と共に様々な経験、勉強をしてきました。委員長経験の無い自分が言うのも可笑しいですが、皆さん理事を経験して一回り大きな自分になって卒業していっていただきたいです。

山岡　稔季

2003年に入会いたしまして、27歳になるときから13年間活動いたしました。7月11日に家内が自転車で転び2週間入院いたしました。夜に週1か2ぐらい新開などよく飲みに行ったりしていました。その時は松永に行って縁石に乗り上げて頭を打って腰の骨を折って、後遺症はありませんでしたが、そんなことがありました。結婚して家内が入院して最初の一週間は病院に毎日寝泊り、私と義理の母が介護を替わり替わりしながら、仕事もできないことを7月に経験いたしました。日ごろから、自分で思っていることがありますが、自分は周りの人たちに活かされているのだなということを改めて、この7月に痛感いたしました。

テーマ、人間は周りの大切な方々に活かされて生きているというお話をさせていただきたいと思います。JC2003年から仮入会委員で入会いたしまして、幹事、セクレタリーをしたり、ブロック出向したりしましたが、その時自分の能力を過信してましたし、JC入ったからには出られる事業は全部出ようと決めていたのでお願いされた仕事は全部努めてやるというスタンスで最初の3～4年くらいやりました。痛感したのが、入会5年目で委員長を経験しましたが、10人のメンバーをまとめるには、やるんだとか、こうやりたいですというのではなかなかついてこないことに直面しました。合同委員会にしても、委員会メンバーに来ていただくことにすごく苦労したことがありました。総務委員会でしたのでそれまで100%例会を目指していましたが2、3回100%出席委員会をすることができました。結構委員会は盛り上がりまして、最終的には卒業例会にて、メンバーに動いていただいてよく乗り越えたかなと思います。鍛治川理事長の時は専務理事も務めさせていただきました。この時も35歳で、古株の方がいる中で専務させていただき、何とか乗り越えた1年だったと思います。そして、副理事長を務めさせていただきました。この時の経験は一歩引いた立場で二つの委員会をみますが、自分の視野の狭さを気づかせていただきました。特に専務理事と副理事長をしたときはしんどいこともありましたが、周りの方のすごさを痛感させられました。平成24、25、26年の後半3分の1はお世話になった後輩たちのそばにいてあげて、できるだけ委員会にはでて、恩返しをするようなJCライフになったのかなと思います。

私が13年間勉強になったことは、尊敬できる先輩に出会えたことです。先輩の立ち振る舞いや話し方やお金の使い方を勉強させていただきました。この先輩はここがすごい、あの先輩はこれがすごいというところを若い目で見ながら盗みました。最初の3、4年はそう過ごさせていただきました。先輩にはもちろんお世話になっていますが、中盤から後輩の方に勉強させていただくことが多くあります。後輩の方が委員長になった時に、自分の委員長のときより立ち振る舞いがすごいなとおもったり、これはできなかったなという気づきが多くあります。だから、後輩は先輩よりも勉強させられることが多いと、後半5年間思いました。そして、近年入会している方に特にお伝えしたいことは、残り5年ほどあれば是非、卒業までに委員長をめざしていただきたい。そして、7、8年ほどあれば副理事長までは頑張っていただきたいと思います。特に、委員長の経験は、委員長でなければ感じることはできなく、担当例会の朝や、自分が立ち上げた事業の朝のあの気持ちは、なかなか委員長でないと感じは味わえないと思います。ぜひとも、近年入会5年や7、8年ある人は委員長、副理事長を目指して頑張っていただきたいと思います。いろいろ、会社の都合や家庭の都合があるかとは思いますが、周りの方の理解があって、自分が生かされてJCができる環境にあるならば何か掴み取れることがあると思いますので、積極的に進めていただきたいと思います。

もう一つ、副理事長や専務理事をしたときに、OBの方や普段出会えない方に会ったりします。私も副理事長の時に祭のことや音楽フェスなので、外部の方と折衝することがありましたが、普段ではお話しできない尾道JCの大先輩にお手紙をいただいたことがあります。谷前さん、青年会議所で一番勉強していただきたいことは品性、品格を持った大人として、この40歳まで完成していただきたい。そして、この地域に貢献できる人間になってほしい。という言葉を36歳の時にいただきました。本当にこの言葉はすっと入ってきました。JCは本当に友達もできるし、いろんな人と知り合えるし、その環境の中で律して、自分が決めた中で動かなければならないことがあると思います。それをまず一番に確立するのは自分で、自分はどんな人になりたいのかを訴えかけて考えていただきたいと思います。

まとめになりますが、繰り返しにはなりますが、JCに出席できるという環境の有難さをまわりの人に日々感謝して品性のある大人にみなさんでなっていきましょう。ありがとうございました。

谷前　秀樹